春クリ訪リハNEWS

Vol.9
2026年秋号

もう一度、食べる喜びを

～食べれるようになった私のこと～



Gさんのメッセージ

入院中、小さな天使（担当言語聴覚士：ST）が小さな希望を灯してくれました。
それは、小さなゼリーも食べる事ができなかった私にとっては大きな事でした。
退院し、在宅生活となり大きな天使（歯科医）が現れ、大きな希望の出会いとなりました。

毎日のバルーン訓練という食道を広げるための訓練を耐えられたのは、夫婦で共に出来たからでした。バルーン訓練は回数を沢山こなすことが一番重要なことだそうです。
リハビリが無い時は夫婦で毎日10回施行してました。
その甲斐あって、半年という驚くべき早さで、歯科医、訪問STの指導のもと嚥下障害を克服することが出来ました。9月には念願の鰻を食べに外食することも出来ました。
これもひとえに、関係する先生方々、看護師さん、リハビリ言語聴覚士さん達のサポートや協力があったからです。そしてもちろん、奥さんの協力が無ければ出来なかったことです。
感謝しかありません。

奥さまからのメッセージ

一緒にリハビリをしているなかで、本人も楽しみながら取り組んでいました。回数をカウントしながら最後まで頑張る姿を見ていると、きつそうだなと感じることもありました。

食事は最初はゼリーからでした。そこから少しずつ食べられるものや量が増えていき「これも食べさせてみよう」と工夫してみてもなかなか食が進まない時もありました。お互いの苦労がなんとなく伝わり、でも食べられるようになったことは何よりも最大の喜びでした。



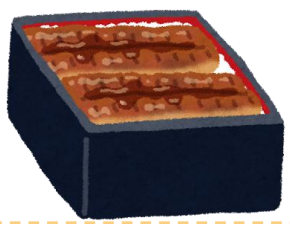
自主練習の様子



STとのリハビリ

担当スタッフから一言

当初は、ゼリーを数口食べても喉に残り、うまく飲み込めずに吐き出してしまう状態から訪問リハビリが始まりました。現在は、特に食べにくいものは除き、ほぼ制限無く食事を楽しめるようになりました。歯科医の評価や指導のもと、バルーン訓練や食事形態の工夫、自主練習の指導を行ってきました。何より、本人とご家族が努力を重ねて来られた成果だと思います。これからも今の状態を維持し、体重の増加につなげられるよう一緒に頑張っていきましょう。



事業所名：春回会クリニック　訪問リハビリテーション
住　　所：長崎市目覚町7番2号　HCS長崎ビル4階
TEL：095-865-6229　　FAX：095-865-6380

